

フーク

州・沖縄

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

福岡支局

FUKUOKA

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目23番22号
シティ22ビル
TEL (092) 472-3887 FAX (092) 472-3888

島根県鐵工会

組合機能を充実化

先 端 金属素材 開発PJ 参画など

【松江】島根県内の鉄鋼関連企業などで組織する協同組合島根県鐵工会(本部＝松江市、理事長＝児玉泰州・コダマ社長)は、組合員と地域の発展への貢献を目指し、組合機能の充実を図る。産学官が連携する先端金属素材の開発プロジェクトに参画したほか、16年にスタートしたメンテナンス事業の体制を強化、島根大との交流事業も始めた。今後、金融機能を含めた経営サポートや外国人材の活用支援のための体制整備を進めたい考えだ。



児玉理事長

2018年10月に、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に、県や島根大、日立金属などが参画する「先端金属素材グロ

ーバル拠点の創出ーNext Generation Project A Project (ネクストジェネレーション・タタラプロジェクト)が採択されたことを受け、島根大は伝統的製鉄法のたたら製鉄の名を冠した「次世代たたら協創センター」を設立。同センターを中心とした産学官

のコンソーシアムで、特殊鋼産業を中心とした航空機エンジンの主要部材や電気自動車(EV)向けのアモルファスモーターの生産拠点の確立などに取り組み。地域産業の高度化と並行し、世界トップレベルの人材育成にもつなげる野心的な試みだ。

理事長がコンソーシアム会議に加わり、方針決定などに地元産業界の立場から関わる。航空機、モーター産業共に、すそ野の広い産業であることから、組合各社の持つ技術を活用し、プロジェクトの推進と各社の事業発展につなげたい狙いだ。児玉理事長は「組合員の活躍のチャンスにな

る。われわれにとって は伝統産業を未来に つなぐ大きな夢だ」と希望を語る。

組合員の保有設備の保守などを行うメンテナンス事業は10月から人員を増員した。各社の持つ設備のデータベース構築を進めており、データを活用することで設備稼働率の向上や故障率の低減、設備の長寿命化を図る。島根大とのパートナーシップ事業も開始した。毎年、7月に開く組合員交流会では、同大から講師を招き、講演会を開催したほか、

や産業の構造が変化する中で、必要とされる機能も変化しているといる。将来を見据え、組合員の関心の高い外国人材の活用支援やきめ細かな金融サポートなど、時代の変化に対応した機能を整えていく(児玉理事長)方針だ。

10日開催 「くにびき交流会」 取引先に感謝伝える

【松江】島根県鐵工会は10日、松江市のホテル一畑で全国の鉄鋼、工具機械関係者を招き、「くにびき交流会」を開催する。取引先に感謝を伝え、親睦を図る場として毎年、開いているもので、今回で15回目を迎える。鉄鋼、工具機械メーカー、商社など約240人が出席予定。交流会とともに、出雲大社や古代出雲歴史博物館、いずもまがた

まの里伝承館などを巡る「神々の集まる地、出雲探訪」も企画する。2016年はたたら製鉄、17年は松江城などの探訪を行い、18年は初めて山陰地区最大規模の企業展示会「島根ものづくりフェア」を主催、多くの来場者が訪れ、成功裏に終了した。児玉泰州理事長(コダマ社長)は「今年は、出雲の歴史・文化に触れてほしい」と話す。